

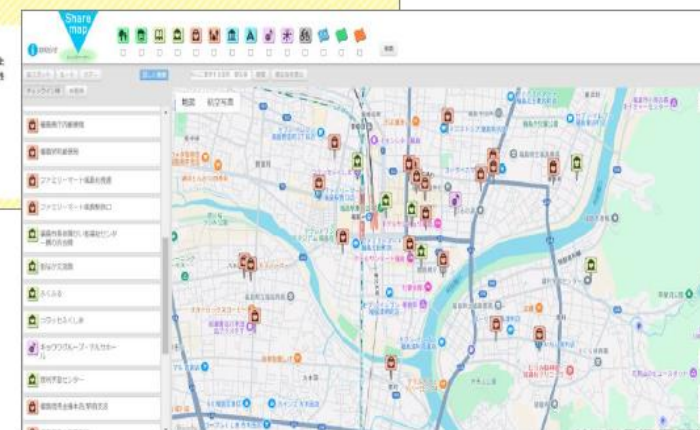
5. 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)と涼み処

事例9. 福島県(1) 「ふくしま涼み処」

- 県内公共施設、民間施設のうち「**ふくしま涼み処**」(一定期間、暑さをしのぐことができる施設)として協力いただける施設を募集。
- 登録数は**県内1,302か所**(公共施設471か所、民間施設831か所)にのぼる。
各施設にはポスターとのぼり旗を掲示し、PRを行う。
- 登録施設、利用時間や地図情報を**福島県気候変動適応センター**のホームページにて案内。アクセスしやすくするためにポスターにホームページの2次元コードを表示。



▲「ふくしま涼み処」の事例



▲ すべての施設をシェアマップ(クールシェア事務局による運用)に掲載している。
※ 期間外には公開されていません。

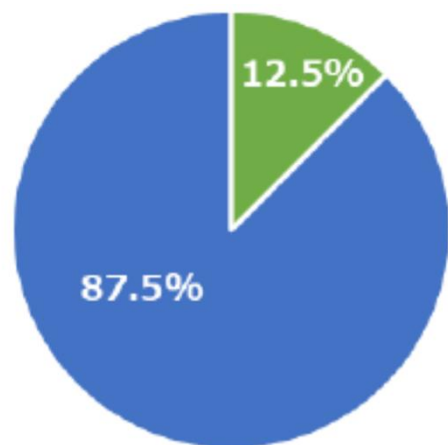
福島気候変動適応センター <https://www.fukushima-kankyosozo.jp/lccac/kenkou/heatillness.html>

5. 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)と涼み処

事例9. 福島県(2) 「ふくしま涼み処」

●「ふくしま涼み処」利用者へのアンケート

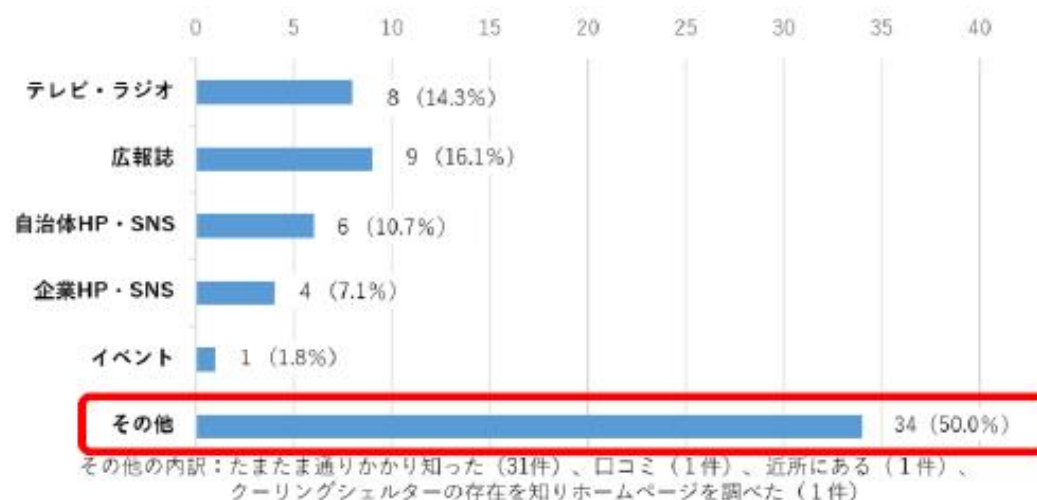
利用した感想として
約88%の利用者が「よかった」と回答。



- 「よかった」 87.5%(49件)
- 「よくなかった」 12.5%(7件)

- ・ こういう取組はありがたいです！(30代)
- ・ とてもよい試みです。
熱中症を回避できました。(60代)
- ・ もっと増やしてほしい。(10代)
- ・ 場所が増えるとよい。(40代)

約半数の利用者が、広報媒体経由ではなく「たまたま通り
かかり(店頭でポスターやのぼり旗を見て) 知った」と回答。



- ・ ポスターがあるところが少ないです。
もっと利用しやすいPRをお願いしたいです。(50代)
- ・ (この取組を)もっと早く知りたかった。(70代以上)

👉「ふくしま涼み処」の取組自体は高い評価。

広報資材(ポスター、のぼり旗)含め、取組の認知が低く、さらなるPR、効果的な周知が課題。

5. 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)と涼み処

事例9. 福島県(3) 「ふくしま涼み処」

●「ふくしま涼み処」施設管理者へのアンケート

「ふくしま涼み処」の設置にあたって工夫した点、苦慮した点

- 広報面での工夫
 - ・ ポスターを見えやすいところ(入口など)に設置
 - ・ 施設独自でPOPなどを作成し広報 …など
- 施設調整、設備面での工夫
 - ・ いすを増やす、「ふくしま涼み処」のスペース増設
 - ・ 応急セットを設置
 - ・ 麦茶の提供 …など
- 冷房面での工夫
 - ・ 暑さが続いたため、通常の冷房期間を延長
 - ・ こまめな温度調整 …など
- 庁内調整、施設調整面での苦慮(公共施設)
 - ・ 所管部署での調整、意思決定
 - ・ 会議等で使用できない場合の、代替場所の調整…など
- 冷房面での苦慮
 - ・ 温度変更しても、すぐに館内が冷えない
 - ・ エアコンの効きが悪い …など

広報資材(ポスター、のぼり旗)に関する要望

- 早期の提供
- ポスター、のぼり旗の増加
- ポスター内容の充実
 - ・ 施設一覧、熱中症の簡易判定や対処方法などを検索できる2次元コード表示

運用全般に対する意見、要望

- 必要な取組、今後も継続希望
- 県によるとりまとめも効率的、継続希望
- 早期の運用開始
- テレビ等による広報充実、周知強化
 - ・ 大きな費用のかかる新聞、テレビなどのメディアを活用した周知を県が行ってくれると、市町村はやりやすい
 - ・ 特に情報弱者とされる方への取組の周知強化
 - ・ 認知度が低い

☞ 広報資材の充実(ポスター、のぼり旗の増刷)や、取組のさらなるPR、情報弱者とされる方々を含む住民への効果的な周知が課題。